

栃木県総合文化センター
狂言シリーズ 第18弾!



狂言 万作の会

場所 栃木県総合文化センター
メインホール
日時 平成二十六年二月七日(金)
午後六時三十分開演
(六時開場)



入間川
いるまがわ

解説

石田
いしだ

幸雄
ゆきお

(狂言鑑賞講座)

大名 野村
のむら

萬齋
まんさい

入間の何某

高野 和憲

太郎冠者

中村 修一

休憩十五分

業平餅
なりひらもち

在原業平

野村
のむら

万作
まんざく

餅屋の娘

岡

聡史

傘持

石田

幸雄

杓持

月崎

晴夫

侍

飯田

豪

稚児

安達慎之介

連

太夫

内藤

連

餅屋

深田

博治

後見 中村 修一

後見 深田 博治

一人間国宝
野村 万作



野村 萬齋



入場料 (消費税込) S席 4,000円 A席 3,000円 (学生 2,000円)
発売開始 10月16日(水) 午前10時から下記プレイガイドで取扱い

プレイガイド ●栃木県総合文化センタープレイガイド
電話予約 TEL.028 (643) 1013 (営業時間10:00~19:00)
インターネット予約 <http://sobun-tochigi.jp/>
●下野新聞プレイガイド(東武宇都宮百貨店2階) TEL.028 (651) 5255
●宇都宮市文化会館プレイガイド TEL.028 (634) 6244
●FKDショッピングプラザ 宇都宮 3F TEL.028 (623) 5269
●FKDショッピングモール 宇都宮インターパーク店 2F TEL.028 (657) 6534

主催 公益財団法人とちぎ未来づくり財団

お問い合わせ 公益財団法人とちぎ未来づくり財団(栃木県総合文化センター)
〒320-8530 宇都宮市本町1-8
☎028 (643) 1010 (文化振興課)

お願い・お断り

- 都合により、出演者等が変更になることがありますので予めご了承ください。
- 就学前のお子様のお入りはご遠慮ください。
- 会場内では携帯電話の電源を必ずお切りください。
- 会場敷地内には駐車場がございません。公共交通機関等をご利用ください。

狂言万作の会

あらすじ

入間川(いるまがわ)

長らく都に来ていた遠国の大名が、太郎冠者を連れて本国へ帰る途中、入間川に行き当たる。そこで出会った人間に住む男が「そこは深い」と止めるのも聞かず、川を歩いて渡ろうとした大名は、深みにはまつずぶぬれになってしまう。昔から人間では「人間様(いるまよう)」と言って逆さ言葉を使うはずだと怒った大名は、男を成敗しようとするが…。

逆さ言葉によるセリフのやりとりが面白い作品です。入間川は現在も埼玉県南西部を流れる川。狂言には珍しく、関東を舞台にしています。

業平餅(なりひらもち)

美男かつ色好みで知られる在原業平が、供を連れて玉津島明神の参詣に出かける。途中で空腹になり餅屋に入るが、殿上人の業平は代金の持ち合わせがなく、食べることができない。仕方なく餅尽くしの謡で気を紛らわせていると、業平の素性を知った餅屋が娘の宮仕えを願い出る。娘を二目で気に入った業平は、自分の妻として娶ると言い出すが…。

歴史上、雅な二枚目として知られる業平が、何とも間の抜けた狂言らしいキャラクターにパロディ化されています。欲望に素直な人間味溢れる人物たちのやり取りのほか、色彩豊かな装束をまとった業平一行の行列も見どころです。



野村万作 (のむらまんさく)

1931年6月22日生

重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)。祖父・故初世野村万斎及び父・故六世野村万蔵に師事。3歳で初舞台。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。軽妙洒脱かつ緻密な表現のなかに深い情感を湛える、品格ある芸は、狂言の一つの頂点を感じさせる。国内外で狂言普及に貢献。ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。狂言の技術の粋が尽くされる秘曲『釣狐』に長年取り組み、その演技で芸術祭大賞を受賞。その他、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、長谷川伸賞等、多数の受賞歴を持つ。02年早稲田大学芸術功労者として表彰を受ける。06年朝日賞受賞。12年旭日小綬章受章。『月に憑かれたピエロ』『子午線の祀り』『秋江』『法螺侍』『敦山月記・名人伝』等、狂言師として新たな試みにもしばしば取り組み、現在に至る狂言隆盛の礎を築く。11年、練馬文化センター名誉館長に就任。後進の指導にも定評がある。

著作物

「太郎冠者を生きる」白水社(1984年)・白水社uブックス(1991年) 「狂言三人三様 野村万作の巻」岩波書店(2003年)



野村萬斎 (のむらまんさい)

1966年4月5日生

祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。

重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台『敦山月記・名人伝』『国盗人』など古典の技法を駆使した作品の演出、NHK『にほんごであそぼ』に出演するなど幅広く活躍。各分野で非凡さを発揮し、狂言の認知度向上に大きく貢献。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通し狂言の在り方を問うている。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞等、受賞多数。12年には芸術祭優秀賞受賞。2002年より世田谷パブリックシアター芸術監督。

著作物

「萬斎でござる」朝日新聞社(1999年)・朝日文庫(2001年) 「野村萬斎写真集」アシェット婦人画報社(1999年) 「狂言サイボーグ」日本経済新聞社(2001年)・文春文庫(2012年) 日本の伝統芸能は面白い③「野村萬斎の狂言」岩崎書店(2002年) 「狂言三人三様 野村萬斎の巻」岩波書店(2003年) 「What is 狂言?」檜書店(2003年) 「MANSAI◎解体新書」朝日新聞出版(2008年)



石田幸雄 (いしだゆきお)

1949年8月3日生

高校在学中より野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。76年「茸」で初舞台。01年、宝生流田崎隆三師と共に「雙ノ会」を設立。大胆かつ緻密な演技で、すでに数多くの優れた舞台歴を持つ野村家の重要な演者。「三番叟」「釣狐」「花子」を既に披く。06年には「雙ノ会」で芸術祭大賞受賞。11年観世寿夫記念法政大学能楽賞を受賞。新しい試みの舞台にも意欲的な発表が多く、「法螺侍」「まちがいの狂言」「敦山月記・名人伝」「国盗人」でも活躍。普及公演での的確な解説にも定評がある。「万作の会」の海外公演にも多数参加。日本大学芸術学部・学習院大学非常勤講師。



県庁地下駐車場のご利用について



栃木県総合文化センターにお越しのお客様は

土・日・祝日 9:45~21:30と**平日の夜間 17:00~21:30**は
2時間まで無料で県庁地下駐車場をご利用いただけます。

直接入庫いただき、入庫の際に発行される駐車券を総合案内(プレイガイド)または管理事務室にお持ちください。
駐車券に総合文化センターの受付スタンプ押印が必要です。

- 2時間以上ご利用の場合は、30分ごとに150円となります。
- 左記の日時以外は、ご利用いただけませんのでご了承ください。
- 21:30以降は出庫できませんので、ご注意ください。
- 県庁閉庁日はご利用いただけません。(閉庁日は県庁ホームページでご確認ください。)

お問い合わせ 栃木県総合文化センター 利用サービス課 ☎028-643-1000

収容台数400台 ※満車の際はご容赦ください。

